

1 植物が生育するためにはどんな条件が必要だろうか

私たちのまわりをみると、人家の周辺、小川のほとりや神社の森、田のあぜなど、場所によってちがった植物群落がみられます。

また図-1, 2のように、道路の敷石の間や、かわら屋根などにも、植物が生育しているのを見かけます。このように、植物はいろいろな環境のもとで生活しており、その環境条件がちがえば、そこに生育する植物の種類もちがうし、その環境条件に適応した形態や性質をもつようになります。

特に、植物は動物とちがって移動することができないので、その生育している場所の土壌・水分・温度（気温）・光・風・他の動植物などの環境要因に強く支配されています。そして、植物の形態や成長のしかたは環境のはたらきかけを強く受けています。

土壌では通気性と保水力が関係します。一般に保水量の大きい土地に生育する樹木は根が浅く広くはって枝が下の方までよくのびます。反対に乾燥した土地に生育する樹木は根が深くのびて枝は上の方だけのびるようになります。



図-1 石畳の間に生えているヨモギやメヒジバ(福島市卸町)